

2007.9 VOL.23



商工会報

# みのわ

発行者 箕輪町商工会 発行責任者 会長 小林紀玄



暑いと云うよりも「燃える」という感じの真夏の炎天下、「2007みのわ祭り」が二年ぶりの正に熱気の中で開催されました。我が町の祭りは神仏や祖先をまつり、祈願や感謝、慰霊などの祭礼と違い町民手作りの「催しもの」中心のイベント祭りですから参加して楽しむほうがいいですね。お馴染みの「みのわ天竜音頭」も軽快な「ワクワクダンシング」も又今回豊島区から参加された「東京よさこい」の迫力ある踊りには歓声が上がりました。やはり祭りには神輿と踊りは欠かせません。踊りといえば四国高知の「阿波踊り」や青森の「ねぶたまつり」のような陽気な踊りも良いと思いますが、「佐渡おけさ」や二百十日に「風神」を鎮め五穀豊饒をいのる「おわら風の盆」のようなしつとりとしたもの悲しく正に幽玄の世界を思わせる：いいなあ！…え！編み笠で顔が隠れているからでしょうって、そんなこと！…ない！…です。

会長所感



# 環境貢献世紀に

箕輪町商工会長 小林 紀 玄

七月二十八日の夜、太陽と月の間に入った地球の影で月が完全に隠れる皆既月食があった。ギリシャ神話やおとぎ話などには人間の心の卑しさや悪行に対する天帝（天神）の怒りであるという話が多い。その月に人間は四十年も前に降り立ち征服している。うさぎのいる月への思いは

薄らいでしまった。

日進月歩する科学は経済をも著しく発展させ、わが国は世界第二位の経済大国に成長した。それは、緻密にして勤勉な日本人の努力によるものである。

化石燃料を主体とした化学の進歩に貢献した二十世紀の裏で、人間や生物を始め地球

温暖化という大変な課題を発生させ、止めようのない状況にある。

我々企業家もISOやエコアクション21の認証を受けるなど、安全・安心の企業づくりに努めているが、地球規模で環境問題が叫ばれる中、太陽光や風力といった自然の力に目を向けることを真剣に考えなくてはならない。

月に兎が住んでいるという子どもたちに輝いて見える月がいつまでも有ってほしい。我々も「環境」の二文字に貢献する世紀にしたい。

## 商工業振興懇談会

八月二十四日産業会館において「商工業振興懇談会」が町議会総務産業常任委員会委員と商工会役員により開催された。

四月の議会議員選挙により新たに構成された委員会に町の商工業の実態と商工会の現状について理解を深めることなどを目的に説明がされ席上小林会長から「経済は好調が伝えられるが地方の格差は広がるが地方の格差は広

がるばかり。加えて大型店の進出が予定され既存小売業は壊滅的打撃を受ける。町の中心に公共施設を考えるなどTMO事業の軸となる行政政策が必要」と唱えた。

また、企業振興資金貸出枠の拡大、企業立地促進法地域指定の促進、公共事業枠の拡大や入札制度の改善、産業会館の改修などの意見が出され、上嶋議長始め各議員と商工会委員との活発な提言が二時間半にわたりに続き、今後定期的懇談の機会を設けることで一致した。

# 2007 みのわ祭り



あそこには負けられないよ

優勝は僕たちだあ——



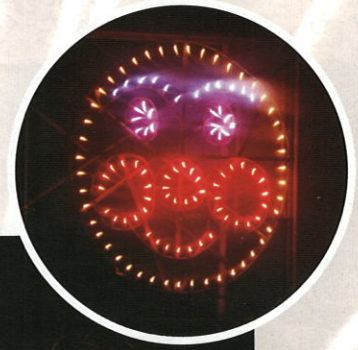
祭り当日は  
かわいい人形のような  
お子様がたくさんいました



一生懸命踊って、疲れました。



本年もおかげさまで  
大盛況だった商工会青年部の  
こどもまつり広場。



みのわ手筒花火の壮大さは今年も健在。



東京よさこい。元気一杯でした。



# 人と人、そして絆



青年部長  
小林 宏幸

郷土の人として郷土に息衝く若者たちでありたい、そんな気持ちから「郷土を知らずして郷土を語るなかれ」とテーマを掲げました。

忘れてはいけない大切な事伝えていきたい大切な事、その時代々に息衝いた人々が築き上げた物は、人と人の絆が築き上げた物だと思えます。我々青年部もみのわ祭また、町のイベントに参加してまいりました。正直、副部長の頃は「俺たちはイベント屋か？」と思っていました。がイベントを行う中で部員同士の交流、また部員たちが郷土に息衝く若者になる姿を観て、嗚呼、我的心狭し“と思うしかありません。しかしイベント参加だけが青年部ではありません。部員のビジネスに対する関心は高く「ビジネス講習会を」と意見もあがり、今進めている事業の一つに、「部員自らが学び得た知識を講師として

講習する」、そんな事業も進めていきたいと思えます。



二年ぶりに開催された「みのわ祭」では例年と同じく子供達に「みのわ」を好きになつてもらおうべく、こども広場を担当しました。

割りあての場所がメイン道路から奥に入っていることもあり、どの様にアピールするかがポイントとなりました。結果、シンボリックな大きなものを！ということから、通称「ふわふわ」という、高さ8m程の風せんとトランプ

リンが合体した様なアトラクションを設置しました。

小さな子から中学生まで、大変好評でした。その他は部員手造りのゲームを多数設け、絶えず子供達が遊ぶ姿を見ることができました。

この広場を通じて、子供達が「みのわ祭」や箕輪町を好きになってくれればと思います。



## ふれあい広場に参加

八月二十六日町民体育館前にて、ふれあい広場が開催され今年も青年部として食べ物コーナーに参加協力しました。

当日は天候も良く、残暑の厳しい日となりましたが、二十名余の部員に参加していただき、ジュース類、アイスクリームの販売は好調で完売となりました。

また、沢山のお子様が出来ているにもかかわらず、食べ物コーナーの品では対応しきれないことから、みのわ祭等のゲームで利用する景品を百円均一で販売することを考案。すぐさま小林部長指示のもと準備開始。このあたりは

経営者らしい、的確な判断と迅速な行動でお客様たちの要求を満たしてあげることが出来たのだと思います。

終了後は、村さ來にて「みのわ祭」の反省会とあわせ、慰労会を行いました。売り上げの一部は規定により、町社協を通じて寄付させて頂きました。

## 研修旅行 名古屋

九月八日・九日、部員十三名で名古屋方面へ研修旅行に行つてきました。キリンビール名古屋工場では、製造工程等の見学その他、



発酵前の麦のジュースが試飲できるなど貴重な体験ができました。また、ビールのおいしい注ぎ方の実演があり、すぐさま実践していた部員もいました。

名古屋城では、昭和三十四年に再建された天守閣を見学し、古代文化と近代文化の融合を目の当たりにして、ただただ驚くばかりでした。

二日目は土岐プレミアムアウトレットを訪れ、百十一店舗のテナントが建ち並ぶなかを視察し、お客様へのさまざまなサービスの提供方法や集客力アップのヒントを得ることができたと思います。

二日間、天候にも恵まれ、研修と部員の親睦を兼ねた有意義な研修旅行となりました。

# 『耐用年数は?』

向山 和秋

商工会建設業部会の恒例行事である建設現場視察が、今年は九月四日午後一時より伊那東小学校工事現場に於て行なわれた。参加人員は二十人

東京の「みかんぐみ」というユニークな名称の共同の設計事務所が設計及び監理をしているという建設現場でした。はじめにみかんぐみ代表である加茂様の概要説明を御聞きし、一階の大きな空間のフロアーから視察を開始。今回



初めて試みた床

の工事（パイプフロアー）や建物の各所への配慮等、責任者の説明を御聞きしながら、一階から二階へと見て行つた。特に二階の大きな空間を支えるCチャ

ン（軽量型鋼）工法など、メートルを超える積雪に耐えられるか?。厳し

い冬に結露しないのか?いろいろな事が私の頭の中をよぎつた。

又、校舎の屋根の勾配が北流れに出来ているが雪解け時に雨水処理は大丈夫なのか?等設計者側に質問する熱心な当商工会メンバーもいた。

現在問題の学校の安全性についても質問が出るなど、正に本職のプロ達と言葉を失う場面もあり、有意義な視察研修をさせていただきました。

次回も是非参加したいと思えます。



## 『聖徳太子の重さ』 矢作英雄師の講演を聞き

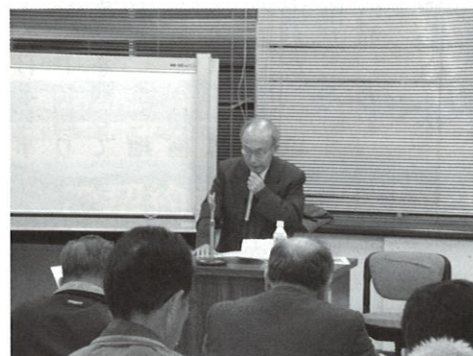
建設業部会長 赤羽 広治

シンプルイズベストという言葉がある。「単純こそ偉大なり。」ということである。

現在は情報化社会と云うことで、世の中何もかもが複雑な構造となつてゐる。建築家吉田鐵郎は現代の多様化時代に一つのヒントを与えてくれていると感じ、私は恩師矢作英雄氏に講演を依頼した。早速OKの返事。伊那松島駅に迎えにいき、車に乗るなり第

一声が「ここは空気が薄いねえ。海拔はなんメートルですか?」と言われた。後でわかつたことだが、講演後葦崎に依り翌朝ホテルを出発するなり具合が悪くなり救急車で病院に運ばれたらしい。講演当日は「日本建築様式のすばらしさ」と題したものの、主に吉田鐵郎の作品を中心にその回りの建築家史を講演していた。実際は一寸無理があつた感じだ。聴講に來られた皆様に御礼を申し上げ又、お詫び申し上げます。ここに吉田鐵郎のポリシーを私なりに書かせて頂こうと思ひます。いくらかは矢作先生を通じて鐵郎の理念がみえて來ると思うからです。先ず日本の建築は「自然と共存している。」

ということを言つてゐる。自然は地域の山、川、植物、人の全てです。縄文の頃の竪穴住居から始まつてゐる。ここには永い歴史がある。聖徳太子の時



代に尺が取り入れられてから(約千三百年前)ずっと同じ様式できている。この歴史の重さを是非感じてほしい。あのように建築(木造柱梁構造の美)して欲しいのではなく、感じて頂ければ結構である。もうすぐ紅葉の季節だから秋について書こう。(鐵郎は四季を重視した日本の建築をあらゆるこちらで取り上げてゐる。)お日様はだんだん南に傾いていく。中秋の名月には縁側に薄芒とお供えを進ぜる習慣がある。是と同時に夏世話になつた風鈴をしまうんだらう。夜長の寝るまでの時間虫の音を聞きながら夫は明日の仕事を考え酒、母親は冬の準備の縫い物、子供たちは読書をしながら寝てしまふ。母親は一番最後にそつと縁側の戸を閉め床に付くのだらう。と、このように私は解釈している。こんな人間的な事までも吉田鐵郎は言つてゐる。しかもドイツ語でだ。

## 工業部会活動

### 第十一回機械要素 技術展に参加して

工業部会長 竹内 眞治

今年度は、六月二十七日、二十九日の日程で、東京ビックサイトで開催されました。商工会工業部会として、初日に視察日を設定し、例年どおり町のバスをお借りしての日帰り研修としました。

バス利用の他にも、直接訪れてくれた町内企業の皆さんもあり、出展社の中には自社従業員や会社関係者を集めての視察バスを結成、親睦を兼ねた社内イベントをしたところもありました。



今回も昨年に引き続き「テクノタウン箕輪」としてグループ出展しました。共同出展社は、伊藤製作所、共和、ミカ

ドテクノス、笑栄システム、クラフト小松、ベネフィット、平出製作所、ものづくり交流プラザ、箕輪ニュービジネス研究会（以上七社及び二グループ）です。

展示会の状況は、出展社、来場者共に一割近い伸びであり変わらぬ盛況振りでした。今回の当町のブースは絶好の位置にあり、常に人の流れがあり、町内企業の皆さんも「今年は最高だ」と感想ももらっていました。商談も多く舞い込み、多くの見積り依頼や仙台や山形など遠方へ出向いての商談も発生したようです。

今年は、初めて辰野町、飯島町の出展者交流会を行ない多くの意見交換ができ、気持ちも一つになり、よかったです。

より多くの会員の皆さんに出展及び研修に御参加頂き、町内の企業同志が理解を深め、他地域に発信できれば良いなと願っています。

工業部会として、研修旅行のものづくりセミナー等、多くの事業を行なっています。皆さんの参加をお待ちしています。

## 女性部活動

### 一年を振り返り見て

女性部長 小口 幸子

昨年、部長としての大役をお引き受けし、本会及び事務局のご支援、また執行部を始め、役員、部員の皆様のご協力をいただく中で、女性部としての事業を進めて参りました。一年間の総まとめとしての総会も、五月十一日実施され、十九年度の事業計画、並びに予算も承認され、二年目を発足することが出来ました。

また長年に渡り、女性部の事務局として担当下さいました柄沢補助員が、青年部担当に変わられ、本年度から、松川町商工会より転勤された、羽入田昌明さんが女性部を担当して下さいることに成りました。温和な人柄と誠実な対応に、事業も順調に推移し感謝して居ります。

一年を振り返り見まして、百余名の会員数を要している女性部ですが、いずれの事業も参加する方が一部に限られ、全員が参加することは先ず出来ません。また役員を成さった方も、役が終わったとたんに関心を持っていただけなる事も、大変不本意に感じて居ります。商工会の事業を通して、人と人とのつながり、また地域社会とのかかわりを、積極的に受け入れて下さればと思います。今後も皆様の希望に添った事業を実施したいと思いますので、ご協力下さいますよう、お願いいたします。

### 白川郷と高山の旅

文化委員会 有賀 俊子

楽しみにしていたバスの旅。四〇名を乗せて一路白川郷へ。



車中ビデオで勉強をし、夫々思いをめぐらし賑やかに、おしゃべりをし、あつと言う間に目的地。日本古来の独特な住まい茅葺の合掌造り、国の重要文化財和田家へ、床下では火薬の原料を生産し、二階は養蚕、何人かは、幼い頃の家での生活を懐かしんでいた様です。太い丸太材を三角形に組み上げ、釘等は一切使わず「ねそ」で縛ってあり、素朴で風情があり、心の安らぎを感じさせられました。白川郷は、いつ見ても感動します

が、ライトアップされた雪景色を是非見たいものです。小京都と云われる高山は、街並の風情が雨にマッチし、小さな店々が、私達の目を引き、楽しませてくれました。それぞれお気に入りの品物を手にし、車中では、お買物談義に盛り上がり、思い出にのこる研修旅行となりました。

次の機会を楽しみに！

福祉厚生事業

急斜面の難コースで熱戦

会員親睦マレットゴルフ大会

唐澤 良夫

去る八月二十五日午前九時半より番場原マレットゴルフ場で開催されました。

会員の親睦と従業員の福利厚生のため今年度は四回目の大会でありました。

八月に入り雨一粒も降らない酷暑の中で会員約五十名の参加でありました。開会式には小林商工会長の挨拶の中で「景気上昇中とは云え小規模

企業者は厳しい現状であるが、諺にも忙中閑ありと云う事も



あるので、後の懇親会を含め大いに大会を盛り上げて頂きたい」と言われました。来賓の平澤町長、小林県議、上嶋

議長、議長長の祝辞があり十八ホールのゲームが始まりました。

番場原会場は他の会場と違い急斜面であり難コースであります。四人一組でゲームは進められ大歓声で悲喜こもごも賑やかでした。

結果は次の通りでした。

①藤田安治②高橋敏③関忠臣④小林洋次⑤関良子⑥伊藤誠

⑦若林雅子⑧柴宮利隆⑨伊藤和子⑩竹内真治▽ホールインワン唐澤良夫 以上です。

断然北部支会の会員の成績が良く不思議でした。大会を終えて懇親会は長岡地蔵尊の南の運動公園にて開催されました。焼肉の香りが一面に漂う賑やかな懇親会となりました。ゴルフの成績よりは食いが優先し、ビールで喉をう

るおしております。今回の行事は商工会建設部会の担当でありましたので、この記事は当然建設部で行うところでありました。ところが私が参加会員の中で最高年齢であったり、たまたまホールインワンをしたりと云う事で、この記事を書かされる事になりました。宴会も盛会の裡に終了し商工会の万才をし解散しました。来年度も多くの方の会員の参加をして頂き賑やかに開催される事を願ってやみません。

商工貯蓄共済

共済推進期間は11月1日(木)～11月22日(木)です。今年もご協力をお願いします。尚、推進期間以外でも加入申込は常時受け付けておりますので、お気軽に商工会までお問い合わせください。

新登場

お待たせしました!!商工貯蓄共済に今年度から「医療保障」が付加できるようになりました!

★会員さま限定★うれしい“無事故給付金”

商工貯蓄共済医療保障特約型プラン

お手軽な保険料で“あんしん”と“楽しみ”をかねそなえた医療保障!

Point 1	Point 2	Point 3	Point 4
入院 1日につき1泊2日入院から5,000円OK 手術 手術1回につき手術の種類により20・10・5万円	楽しみな無事故給付金 10万円 入院や手術がなかったとき、10年満期は5年ごとに5万円、合計10万円が受け取れます。	ご加入はかんたん告知扱いです 体況上、通算上で診査等が必要な場合があります。	割安な保険料です1日あたりの保険料約79円 満40歳男性・10年満期の場合

商工貯蓄共済 満期を迎える皆さまへ

商工会会員の皆さま、商工貯蓄共済満了までのご継続、まことにありがとうございます。

ご契約更新のメリット!

- Point 1 現在の保障内容が継続できます!
- Point 2 告知や診査等は不要です!
- Point 3 病気や入院中の方でも更新可能です!

更新とは、商工貯蓄共済の共済期間が満了したときに、健康状態に関係なく原則としてそれまでの保険金額の範囲内で保障を継続できる制度の事です。

新入職員紹介



商工会補助員 羽入田昌明

この度四月一日の人事異動により松川町商工会から着任しました。自分にとって初めての移動であり、初心に帰って新たな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。箕輪町は人口も商工業もこれからどんどん増加、発

展していく町だと思えますし、環境もよく自然にも恵まれたとても良い町だと思います。早くこの箕輪町に馴染んでいきたいです。青色申告等の税務関連やパソコンなどの情報通信関係など相談がありましてたら気楽に声をかけて頂ければ嬉しく思います。また商工会の職員として箕輪町の振興発展に微力ながらも努めていきたいと考えております。

# プレミアム商品券

発売について  
池田 章

商業部の夏の事業であるプレミアム商品券発行事業を今年も、実施致しました。販売日の八月五日には、多数の町民の方に来ていただきました。商品券の購入者も、今回は、全体の一割強を町外（伊那市、辰野町、南箕輪村他）の皆様に購入頂き、販売から一週間で完売致しました。プレミアム商品券アンケートを販売当日に実施した所、百七十二名

の方から回答をいただきました。結果は、商品券の購入目的が決まっている方が六十五パーセント。商品券の額面金額、券の発売時期については、現状通りで丁度良い方が九十パーセントでした。この事業が商業部会員の売上げに結び付く事を願いながら今後この事業を継続していききたいと思えます。



# サマーフェスタ



準備から、片付けまで入ると長く、今年は暑かった。範囲は、松北実業団から松南実業団の一五三号線の飾りと、催し物会場として、通り町と本町の例年会場と松島駅前通りを歩行者天国にし、二日にかけて催したのですが、二会場とも特徴が出ていて良かったと思えました。

一方反省点も多く悩みますが、組織内の多くの皆さんの知恵と汗、それにも増して、地元の老若男女の皆さんのご支援がありました。TMOや商工会に直接関係のない皆さんにもご迷惑かけたり、ご協力いただいたりで、これで良かったのかなと申し訳なく思いますが、TMOについて理解を深めて頂いたことと、うずくまって汗まみれで片付けている頭の上を「皆さんにはご苦労でしたが、わたしたちは楽しませてもらってよかったですよ！」と二・三の人達がいながら通って行きました。



# 編集後記

暑い熱い夏は終わった。昨年見送られた「みのわ祭り」も盛大のうちに終われ、アツトという間に秋となってしまった。今年も夜は鈴虫の音と一緒にごはんを食べる事が出来る。田舎はいいなあ。と思う瞬間である。親として小学校最後の運動会を終え、子供の成長に感謝感激涙。会報が発行される頃は新総裁も誕生していることだろう。会報編集は毎回加速しながらも戸惑いは相変わらず。原稿にご協力頂いた皆様有難うございました。おかげで本号が発刊されるに至りました。次回の号まで、皆様のご健康ご活躍を期待してやみません。

# 会報編集委員

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 黒田重行 |
| 副委員長 | 赤羽広治 |
| 委員   | 田村吉久 |
| 委員   | 福澤宗久 |
| 委員   | 北澤幸子 |
| 委員   | 小口幸子 |
| 委員   | 松崎勉  |
| 事務局  |      |